

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	消費生活展				所管	区民部 くらしの相談課			
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名 (行政計画外事業)	事業の開始・終了年度				
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標]			[事業開始] 昭和 5 1 年度				
		[小 柱]			[終了予定] - 年度				
		[施 策]							
根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
事業対象	一般区民及び消費者団体								
事業目的	区内の消費者団体の日頃の活動や学習の成果を発表する場であると同時に消費者啓発の機会として位置付け、消費生活情報を発信することにより区民の消費生活の安定と向上を図る。								
事業内容	消費者団体等の代表により実行委員会を組織し、準備及び運営を行う。 年1回(10月中旬の2日間)開催し、消費者団体、ガス・電気などの生活関連事業者、行政機関、姉妹及び友好都市等が出席し、パネル展示を中心に啓発活動を行うとともに、消費者が楽しめる講座や体験教室等を実施する。								
委託の有無	一部委託		委託内容	会場設営委託					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	開催回数		回	1	1	1	1	
		来場者数		人	1,600	1,527	1,541	1,493	
	成果指標	来場者満足度		%	99.0	96.4	97.7	98.5	
		決算額 (単位：千円)				2,592	2,605	2,848	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				6,476	7,821	7,619	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				2,536	2,566	2,792	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				56	39	56	
		総経費				9,068	10,426	10,467	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				113	69	109			
一般財源 (区負担額)				8,955	10,357	10,358			
前回評価から改善した事項	新たな業界団体等の参加により、さらに多様化した情報を発信することができた。 土曜日の来場者数が減少していたため金・土曜日開催を木・金曜日の平日2日間に変更し開催したが天候等により来場者増にはならなかった。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	消費者が食の安全・通信・表示など消費生活に関する情報を求めている社会状況の中で、区民に有益な消費生活情報を具体的に提示できる場として有効である。						
	効率性	3	経費の大半を占めている会場設営費については「寿作品展」と連携して業者委託することでコストの軽減を図っている。						
	手段の適切性	3	消費者団体による実行委員会とともに企画、運営を行っており、消費者としての意見などを取り入れ事業を展開している。						
	目的達成度	4	本事業については、来場者のアンケートによる満足度は高くなっている。来場者数の減少、年代の偏りがあるため、企画内容や周知方法等について見直しを図っていく必要がある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
消費者問題を身近なものとして考えるためには必要な事業であるが、「消費生活」という広範囲を対象とするため、具体的なポイントを絞り切れず、集客も上がらない。このため、新たな消費者団体の参加や育成、実施方法や展示内容などを工夫し、来場者の年代を幅広くするとともに、多様な情報を発信し、区民の消費生活の安全や向上につなげていく。						改善			